



あかまつ

学校教育目標

深く考える子ども
明るく思いやりのある子ども
丈夫でたくましい子ども

重点教育目標 「わかる できる つかえる 子ども」の育成
～「安全 安心 安定」のある学校をめざして～

フェアプレイを目指して

気象庁の予報によると、今年は例年以上に暑い夏が予想されています。学校では、熱中症予防の対策を最優先に、屋外活動や登下校時に距離を確保できる場合にはマスクを外すなどして教育活動を進めております。地域や保護者の皆様におかれましても、熱中症には十分お気を付けください。



中学年のフェアプレイ発表会が天候不順により、延期、延期また延期となかなか開催することができません。今度こそは7月4日(月)にフェアプレイ発表会を開催して、全学年の発表会が終了できることを祈るばかりです。保護者の皆様にはご心配をおかけしておりますが、子どもたちは前向きに気持ちを切り替えて発表会を目指しています。発表会当日、子どもたちに、たくさん応援をしてあげてください。お願いします。

また、低学年・高学年のフェアプレイ発表会においては、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき感謝申し上げます。プロジェクトチームの子どもたち中心に全員で作上げたフェアプレイ発表会を終えて、にこにこ笑顔で学校に戻って来る子どもたちの姿には、「がんばったぞ!」という充実感が漂っていました。さらに、保護者の皆様のマナーの良い観覧の姿は、子どもたちにとってもお手本となるものでした。重ねて感謝申し上げます。

さて、「フェアプレイ」って聞いて何を思い浮かべますか?校内のふれあい広場に掲示しているニュースの発行元であるJSPO(日本スポーツ協会)のホームページには、『フェアプレイとは「行動」と「精神」で表現されるものである。“行動”とは、ルールを守り、審判や対戦相手を尊重する行為、全力を尽くす行為、勝ってもおごらず、負けてもふてくされない行為である。一方、“精神”とは、自分の考えや行動について善いことか悪いことかを自分の意志で決められる心、自分自身に問いかけた時に、はずかしくない判断ができる心である。』と書かれていました。

本校では、フェアプレイを「運動に親しむための態度」として、〈全力・ルール順守・相手尊重・安全第一〉の4つを合言葉に、運動が本来の持つ楽しさや魅力を味わうことを第一に学習を進めています。今回のフェアプレイ発表会では、〈中学年〉「最後まで諦めずに楽しく!心を一つに!」〈高学年〉「Jikkou!～考えて全力 Action」をテーマに掲げて取り組んできました。目に見える行動面ばかり気になりますが、目には見えない心の成長にも目を向けてあげてください。心の成長は、学習や生活全般にも大変よい影響を与えます。日常のちょっとしたお子様のがんばりなどを褒めて認めてあげてください。そのことが心の成長となり、考えた行動へとつながっていきます。よろしくお願いします。

また、先ほど述べたJSPOのHPに、「目指せ、フェアプレイ宣言100万人!!」という企画がありました。フェアプレイを実践している人・団体は宣言をしてほしいとありましたので、体育で日頃フェアプレイを実践している七重小学校も左のように登録しました。今後、学校にも掲示しておきますので、ご来校の際はご覧ください。

1学期も残り3週間となりました。今年度から夏休みが30日間(冬休みは20日間)となります。フェアプレイ発表会で育まれた“行動と精神”を、1学期残りの学校生活で磨きをかけて、夏休みに向かっていきたいと考えています。よろしくお願いします。



※ フェアプレイ発表会を含め、普段の教育活動の様子については七重小学校HPをご覧ください。〈毎日更新〉 ※

<https://www.town.nanae.hokkaido.jp/education/category/501.html>

七重小学校

